

久慈川水系流域治水プロジェクト

久慈川水系流域治水プロジェクト【位置図】

R3.3策定
R5.6更新

～本川及び支川の河道掘削、堤防整備、霞堤整備等により、令和元年東日本台風に対する再度災害を防止～

○令和元年東日本台風で甚大な被害が発生した久慈川水系では、上流部は山間狭窄部、下流部は河岸段丘治いに氾濫原が広がっている特性を踏まえ、久慈川緊急治水対策プロジェクトによる河道や霞堤の整備、ダム の事前放流、土地利用・住まい方の工夫の他、流域の流出抑制対策などの取り組みを一層推進していくことで、国管理区間においては、戦後最大の令和元年東日本台風洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

- ### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河道掘削、堤防整備、霞堤整備 等
 - 下水道における雨水貯留施設・排水施設等の整備
 - 砂防堰堤・溪流保全工・地すべり・急傾斜地崩壊防止施設等の整備
 - 竜神ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、茨城県）
 - 雨水流出抑制対策（各戸貯留、透水性舗装等）
 - 雨水貯留浸透対策の強化（一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務付け）
 - 森林整備・治山対策（治山ダム整備等） 等

- ### ■ 被害対象を減少させるための対策
- 【土地利用・住まい方の工夫】
- 立地適正化計画に基づく水害リスクの低い地域への居住誘導
 - 浸水が想定される区域の土地利用制限（災害危険区域の設定等）
 - 家屋移転、住宅の高上げ（土地利用一体型水防災事業、防災集団移転促進事業等）
 - 高台整備 等

- ### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 越水・決壊を検知する機器の開発・整備
 - 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
 - ダム操作状況の情報発信
 - 令和元年東日本台風の課題を受けたタイムラインの改善
 - 水害リスク空白域の解消
 - 講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
 - 防災メール、防災行政無線等を活用した情報発信の強化
 - 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
 - 緊急排水作業の準備計画策定と訓練実施 等

■ グリーンインフラの取組 詳細次ページ



凡例

- 浸水実績範囲 (令和元年東日本台風)
- 国管理区間
- 河道掘削・堤防整備等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。 ※氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策には、危機管理対策等は含まれていない。 ※上図の対策は代表的な事例を記載。

久慈川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～本川及び支川の河道掘削、堤防整備、霞堤整備等により、令和元年東日本台風に対する再度災害を防止～

●グリーンインフラの取り組み

「流域の水辺環境と多様な生育環境の連続性と地域振興」

○久慈川は、その源を八溝山に発し、流域には奥久慈県立自然公園や5つの県立自然公園が指定されており、山間渓谷や崖地の間を蛇行し、連続した瀬と淵、砂礫河原や河口の汽水域を形成して流れ、多様な魚類や昆虫等が生息するなど次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多数存在しています。河川の利用としては、袋田の滝や奥久慈渓谷、冬場の流水が凍ってシャーベット状で流れる「シガ」などの観光資源に恵まれるとともにキャンプやサイクリング、高水敷のグラウンドを利用したスポーツなど多様に利用されています。

○久慈川水系では、治水対策における多自然川づくりとして、流域の水辺環境と自然地・農耕地等の自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。

●健全なる水循環系の確保

- ・水源林造成

●治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生育環境の保全

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

- ・水辺の賑わい創出

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

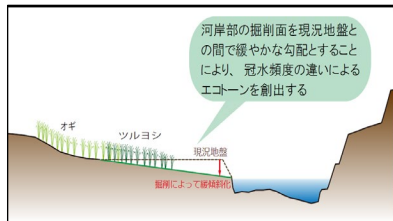
- ・小中学校などにおける河川環境学習

【全域に係る取組】

- ・地域のニーズを踏まえ、潤いと安らぎのある河川空間の保全

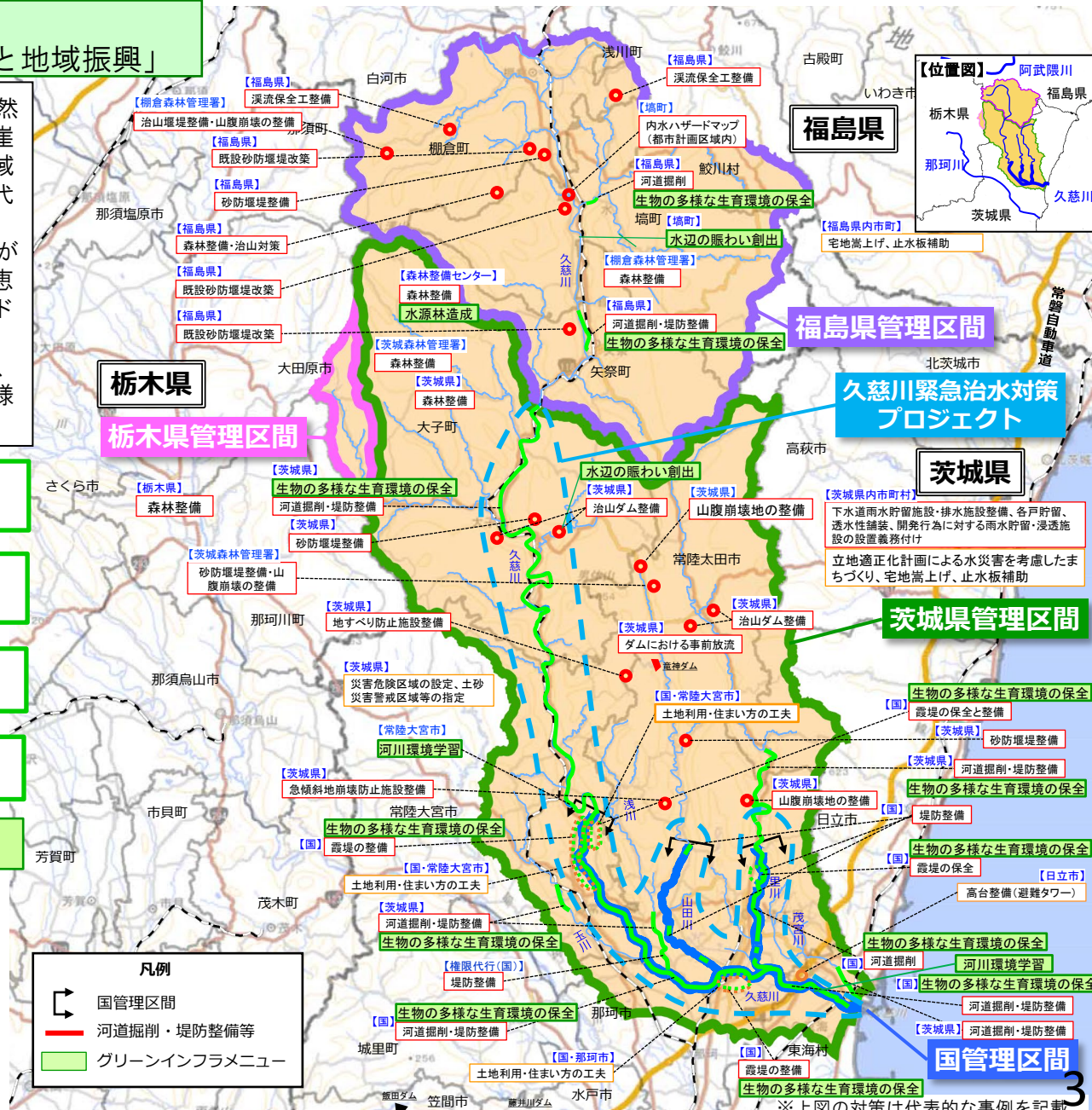


久慈川の代表的な魚類アユ



河道掘削による湿地創出イメージ

※今後の調査・検討等により変更となる場合があります。



凡例

- 国管理区間
- 河道掘削・堤防整備等
- グリーンインフラメニュー

※上図の対策は代表的な事例を記載。

久慈川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

R3.3策定
R5.6更新

～本川及び支川の河道掘削、堤防整備、霞堤整備等により、令和元年東日本台風に対する再度災害を防止～

久慈川では、上流部は山間狭窄部、下流部は河岸段丘沿いに氾濫原が広がっている特性を踏まえ、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

- 【短期】 久慈川緊急治水対策プロジェクトを実施し、令和元年東日本台風洪水における久慈川からの越水防止を図るとともに、流出抑制対策（下水道における雨水貯留施設、雨水流出抑制施設等）や土地利用・住まい方の工夫、防災情報の共有化のための取組として、越水・決壊を検知する機器の開発、危機管理型水位計・河川監視カメラの設置、水害に対する事前準備のための取組としてマイ・タイムラインの普及促進、防災情報発信の強化、要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進等の取組を実施する。
- 【中期】 下流部の流下能力向上を図るため、本川下流部及び里川下流部の河道掘削、里川の浸水防止対策を実施するとともに、流出抑制対策や土地利用・住まい方の工夫、防災情報の共有化のための取組、水害に対する事前準備のための取組を引き続き実施する。
- 【中長期】 支川の堤防整備、本川上流部及び里川上流部の河道掘削を実施し、流域全体の安全度向上を図るとともに、流出抑制対策や土地利用・住まい方の工夫、防災情報の共有化のための取組、水害に対する事前準備のための取組を引き続き実施する。

| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 工程 | | |
|---------------------|---------------------|------------------------|------|--|-----|
| | | | 短期 | 中期 | 中長期 |
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 河道掘削、堤防整備 | 下流部(河口～12.0k) | 国 | 緊急治水対策プロジェクト | |
| | | 上流部(12.0k～31.0k) | 国 | 緊急治水対策プロジェクト | |
| | | 支川 | 国 | | |
| | | 上流部(31.0k～)・支川 ※権限代行区間 | 県、※国 | 緊急治水対策プロジェクト | |
| | 霞堤整備 | 国 | | 高瀬、頓田霞堤整備 | |
| | 流出抑制対策 | 県、市町村 | | 下水道雨水貯留施設、雨水流出抑制施設（各戸貯留、透水性舗装）、森林整備等 | |
| 利水ダム等における事前放流 | 茨城県 | 協定締結 | | | |
| 被害対象を減少させるための対策 | 土地利用・住まい方の工夫 | 国、県、市町村 | | 土地利用制限、家屋移転、住宅の高上げ等 | |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 防災情報の共有化のための取組 | 国、県、市町村 | | 越水・決壊検知センサー、危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置等 | |
| | 水害に対する事前準備のための取組 | 国、県、市町村 | | マイ・タイムライン普及促進、防災情報発信強化、要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進、緊急排水作業訓練等 | |
| グリーンインフラの取組 | 健全なる水循環系の確保 | 国、県、市町村 | | 水源林の造成 | |
| | 治水対策における多自然川づくり | 国、県、市町村 | | 生物の多様な生息環境の保全 | |
| | 魅力ある水辺空間・賑わい創出 | 国、県、市町村 | | 水辺の賑わい創出 | |
| | 自然環境が有する多様な機能活用の取組み | 国、県、市町村 | | 小学校などにおける河川環境学習 | |

■河川対策
全体事業費 約627億円
対策内容 河道掘削、堤防整備、霞堤整備等

■下水道対策
全体事業費 約36億円
雨水貯留施設・排水施設等の整備

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※対策内容については代表的なものを記載している。 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※■■■■■:対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

久慈川水系流域治水プロジェクト

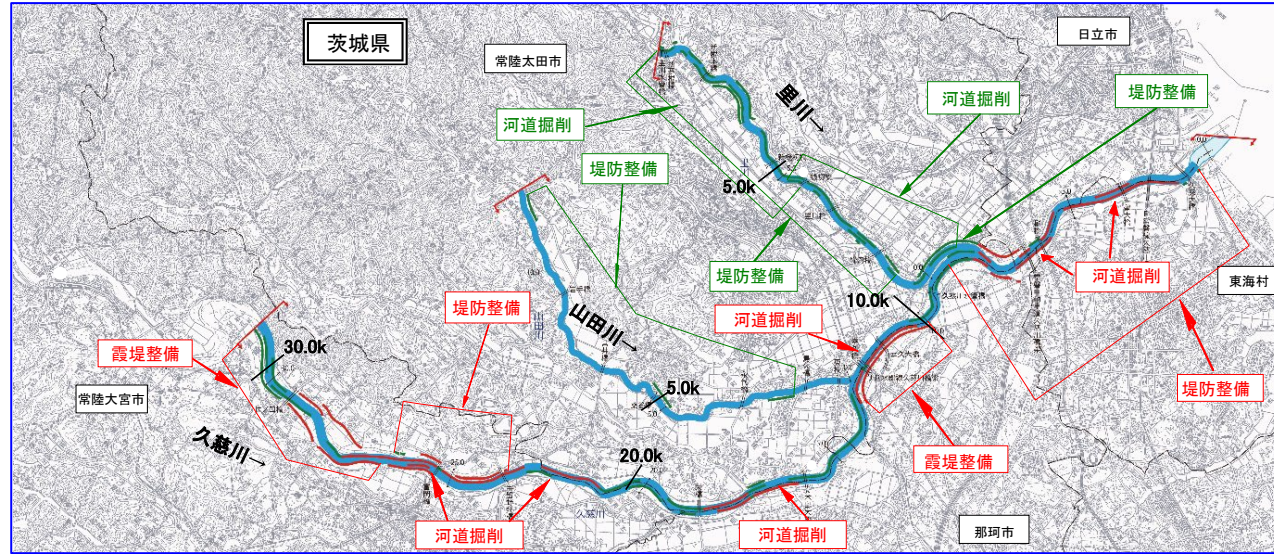
～本川及び支川の河道掘削、堤防整備、霞堤整備等により、令和元年東日本台風に対する再度災害を防止～

R5.6更新

久慈川緊急治水対策プロジェクトにおいて、令和8年度までに久慈川上流部、下流部の河道掘削と堤防整備、額田地区、高渡・上大賀地区、塩原・辰ノ口地区の霞堤の整備を行うことにより、久慈川本川において令和元年東日本台風規模の洪水に対して堤防からの越水防止を図ることが可能。

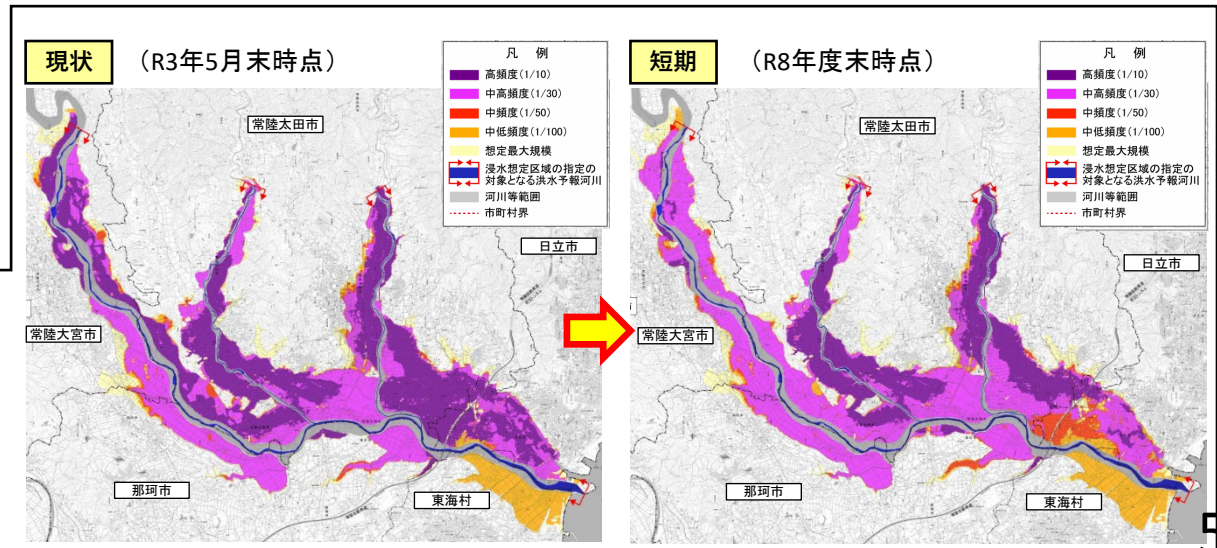
短期整備効果：河川整備率 約21%→約37% (整備計画規模)

短期実施メニュー：赤字
整備計画メニュー：緑字



| 対策内容 | 工程 | | |
|------|----|----|-----------|
| | 短期 | 中期 | 中長期(～R32) |
| 河道掘削 | | | 100% |
| 堤防整備 | | | 100% |
| 霞堤整備 | | | 100% |

R5



注：洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)に基づき、久慈川・里川・山田川(直轄管理区間)が氾濫した場合に、水深が0cmより大きい浸水範囲をシミュレーションにより予測したものである。
注：想定最大規模については、平成28年5月に公表した洪水浸水想定区域図である
注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。
注：国直轄事業の実施によるものであるが、今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

算出の前提となる降雨
久慈川、里川、山田川の2日総雨量
高頻度(1/10) 久慈川:概ね160mm、里川:概ね185mm、山田川:概ね180mm
中高頻度(1/30) 久慈川:概ね200mm、里川:概ね240mm、山田川:概ね240mm
中頻度(1/50) 久慈川:概ね230mm、里川:概ね270mm、山田川:概ね250mm
中低頻度(1/100) 久慈川:概ね260mm、里川:概ね310mm、山田川:概ね300mm
想定最大規模 久慈川:616mm、里川795mm 山田川 837mm

久慈川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～本川及び支川の河道掘削、堤防整備、霞堤整備等により、令和元年東日本台風に対する再度災害を防止～

R5.6更新

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：37%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



0市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



70施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 10箇所
（令和4年度実施分）

砂防関連施設の
整備数 0施設
（令和4年度完成分）
※施行中 2施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



1市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 9河川

（令和4年9月末時点）
※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定
区域 0団体
（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 91施設
土砂 41施設

（令和4年9月末時点）

個別避難計画 11市町村
（令和5年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 堤防整備、河道掘削、霞堤整備等の加速化（福島県・茨城県・那珂市）



（堤防補強 福島県）



（堤防整備 茨城県）

被害対象を減少させるための対策

- 高台整備（日立市）



（洪水避難タワーの整備）

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

- 講習会等によるマイ・タイムライン普及促進（福島県・茨城県・栃木県・日立市・常陸大宮市・那珂市・東海村・大子町）



（講習会の様子 常陸大宮市）



（講習会の様子 那珂市）